

介護職・看護職・家族でもできる薬の見分け方と用量の調整

# 認知症の薬の使い方とそのリスク

介護現場ではいま、画一的な処方と多剤併用によって  
深刻な<薬害>が起こっている！

山形

2017年

日時：9月26日(火) 10:30~16:00

会場：山形テルサ (研修室A)

(山形県山形市双葉町1-2-3)

☆JR「山形」駅から徒歩3分

講師：東田 勉



フリーライター。医療・介護・福祉分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。2014年に刊行された『認知症の「真実」』（講談社現代新書）はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか?』（現代書林）、特養よりあいの森施設長・村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』（SB新書）他がある。

## < 認知症介護&医療の全てが分かる1日コース >

プログラム	10:30 ~ 11:30	<b>認知症医療の最前線の動き</b> なぜ認知症はこんなに増えたのか／海外から批判されている日本の認知症対策／症状による4大認知症の見分け方／高齢になるほど増える合併と移行
	11:45 ~ 12:45 (昼食)	<b>抗認知症薬のメリットとデメリット</b> 中核症状とBPSDへの薬の使い分け／抗認知症薬の増量規定／いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用／認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか
	13:45 ~ 14:45	<b>高齢者への薬物療法の極意</b> 第一線の認知症医が導き出した結論／抗認知症薬が認知症を悪化させる／コウノメソッドの画期的な投与方法／リバスチグミンとシロスタゾール／意識障害とせん妄への対応
	15:00 ~ 16:00	<b>介護職は何ができるのか</b> デビルメソッドからお年寄りを救い出せ／声をあげ始めた医師たち／アルツハイマー病の真の問題とは何か／心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

\*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合はみ一週間以内にご連絡さし上げます。

**【受講料：6,000円】**

\*受講料は当日会場で承ります。

主催

なるほどケア塾

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榎門窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

お申し込みはこちらへ Fax

**Fax : 042-306-3772**

< 参加人数 >

9/26(火) 山形  
( ) 名

< 参加者名 >

\*施設の場合は施設名もご記入ください。

< 住所 >〒

(自宅・職場)

< TEL >

< FAX >